

西区の地域福祉を取り巻く現状と課題	
【現状】 ○人口の増加が続いており、特にマンション住まいの世帯、単身世帯の割合が高く、地域とのつながりが希薄化している ○高齢化率は市内で最も低いが、人口の増加に伴い、高齢者、障がい者が増加している ○こども・子育て世帯の増加に対し、保育施設等の整備が進み、待機児童及び入所保留児童数が減少している ○相談支援機関等への相談件数が増加し、問題が複合化している ○地域福祉活動の担い手が高齢化し、新たな担い手も不足している ○新型コロナウイルスの流行により多くの地域福祉活動が制限を受けた	【課題】 ○身近な仲間づくりと多様な主体の交流の場づくり、地域におけるつながりづくりの推進 ○高齢者・障がい者の特性を正しく理解し、支援を必要とする人に気づくことができるよう啓発を進め、支援を必要とする方が必要な支援につながるような仕組みづくりが必要 ○育児休業等の制度変更や共働き世帯の増加、テレワークの推進、働き方改革等を踏まえ、多様な保育ニーズへの対応が求められる ○総合的な相談支援体制の確保やさらなる関係機関の連携強化 ○あらゆる世代が地域福祉活動に関心を持ち、活動の輪が広がるような取り組みを強化 ○いかなる状況でも持続可能な地域福祉活動の手法が求められる

基本理念	いつまでも住みつづけたいまち西区をみんなでつくろう！ 地域における福祉活動の支援や子育て施策の充実を図り、支援を必要とする方や支援する方の多様なつながりを深めることで、 「誰もが誇りに思える西区」をめざして、お互い気にかけるまちづくりを区民のみなさんとともに進めていきます			
基本方針	安全で安心なまちづくりに向けたコミュニティカの向上		こども・子育て施策の充実	
重点的に取り組む項目	誰もが自分らしく生き生きと暮らせるよう、安全・安心で快適なまちづくりを進めます。		子育て施策を充実し、安心して子育てができる環境づくりを進めます。	
めざす状態	・誰もが地域で安全で安心して自分らしく生き生きと暮らせるように、医療・保健・福祉にかかわる支援者が相互に連携し、地域住民と協働し、地域で互いに理解し気かけ支え合って暮らす仕組みができている状態		・保護者が安心や喜びを感じながらこどもを育てられる状態 ・多様なニーズに対応し、希望する人が働きながらこどもを育てられる環境がある状態	
施策展開の方向性	◎ 見守り活動による地域のつながりづくり お互いの顔の見える地域の中でのつながりや気づきが、支援の必要な方の発見や災害時の助け合いの大きな力となります。 住民主体の見守り活動を区役所と区社会福祉協議会が支援し、地域住民と協働することにより、高齢者や障がい者などが地域とつながり、お互いに見守り合い、課題が生じたときには相談支援機関等につながる仕組みづくりに取り組みます。	◎ 相談が支援に結びつくつながりづくり こども・高齢者・障がい者が身近な地域で必要ときに必要な支援を受けられるまちづくりに連携して取り組みます。特に社会的なつながりが希薄な世帯の支援について、見逃しのない感度の高い相談支援をめざすとともに、複合的な課題を抱えた世帯の支援にあたっては、横断的に各領域の関係者が一堂に会し支援方針を共有し、適切な支援につなげます。	○ こども相談支援・子育て情報の発信 安心してこどもを産み、育てられるように、専門職が連携して、支援が必要なこどもを早期に発見し、切れ目のない相談支援体制を構築します。 利用者支援員を配置し、教育・保育、その他の子育て支援を円滑に利用できるよう、積極的に情報提供を行います。	○ 子育てと仕事の両立支援 出産・子育てと仕事との両立を支援し、子育て家庭の多様なニーズにきめ細かく対応できるよう、身近な地域で子育てができる環境を整えます。 保育所待機児童数ゼロを維持するとともに、児童が病気の時でも保育ができる環境を提供します。
	○ 誰もが自分らしく暮らせるまちづくり 誰もが地域の中でありのまま、あたりまえに暮らすことができるよう、こども・高齢者・障がい者の各協議会、区役所と区社会福祉協議会が連携し、対象者の声を聴き、啓発や福祉教育を進めることにより、障がい者や認知症などの特性が正しく理解され、適切な配慮や支援を受けられるまちづくりに取り組みます。支援を必要とする人が直面している課題や問題を誰もが抱える問題として浮かび上がらせ、解決に向かって共に支え合うことができる地域をめざします。	◎ 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり こども・子育て世帯、高齢者、障がい者など多様な方が気軽に集い、参加し、交流できるサロン、イベントなどの活動が広がるよう、区社会福祉協議会、こども・高齢者・障がい者の各協議会と連携し取り組みと共に、つながりの大切さを啓発します。	○ マンションコミュニティづくり マンションの集会施設等において、民生委員・主任児童委員など地域住民と協力しながら、親子が集う「にっしー広場」を開催するとともに、施設を有していないマンションの親子も参加できる「にっしー広場（公園版）」を子ども・子育てプラザと連携して開催し、あいさつを交わしたり子育て相談のできる身近な仲間づくりを支援します。	○ 多様な協働による子育て支援 子育て中の親子の育児不安を解消し孤立化を防ぐため、区役所と支援者の連携による相談や支援体制を充実させるとともに、人生経験豊かな高齢者や子育てを卒業された方々の知恵と経験を活かし、保護者やこどもと地域での世代間交流の機会を積極的に提供します。未就学の親子のための「つどいの広場」の充実を図ります。
	○ 高齢者の地域生活を支えるつながりづくり 高齢者の在宅生活を支える医療・介護・生活支援・介護予防などが包括的・継続的に提供される地域づくり（地域包括ケアシステムの構築）をめざします。多職種の支援者が顔の見えるつながりをつくり、情報や課題を共有し連携を進めます。	○ 地域福祉活動、福祉人材の担い手づくり 区社会福祉協議会と連携し、地域福祉活動に取り組むみなさんの情報を発信し、活動への理解が深まるよう取り組みます。	○ 児童虐待防止 こども相談センターや民生委員・児童委員など地域における支援者等との連携を強化するとともに、すべての就学前機関（認可外保育所を含む。）への継続した周知など児童虐待の防止に努めます。	○ 学校との連携による子育て世帯の支援 スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）とこどもサポートネットコーディネーターを配置し、小中学校と連携して学校生活等の課題を抱えたこどもと世帯を支援します。また、スクールカウンセラー（ＳＣ）を配置し、区内の全小中学校を対象として、児童生徒や保護者、教職員への相談体制の充実を図ります。